

北海道作業療法士会 自助具コンテスト 応募作品の概要

*A4 用紙3枚にフォントサイズ 10.5pt にて記載してください。

作品の名称	<p>※20文字以内で記入</p> <p>にぎっこ♪</p>
対象者の領域	<p>※該当する項目()に○を入れる。</p> <p>身体障害 (○)、精神障害 ()、発達障害 ()、高齢者 ()、 その他 ()</p>
自助具の分類	<p>※該当する項目()に○を入れる。</p> <p>食事動作 (○)、整容動作 ()、更衣動作 ()、排泄動作 ()、入浴動作 ()、 コミュニケーション ()、趣味・余暇活動 (○) その他 ()</p>
用具の種類	<p>※該当する項目()に○を入れる。</p> <p>工夫・改良品 ()、個別製作品 (○)</p> <p>※ 工夫・改良品市販品を工夫・改良し活用しやすくした物、個別製作品アイデアから個別に製作したオリジナルな物、とする</p>
応募作品の概要	<p>※作品の目的や効果、特徴、新規性・独創性（オリジナリティー）などを簡潔に記載する。</p> <p>目的 握る動作を活かしつつ、保持力を補う自助具</p> <p>特徴 麻痺側の手指に握る動作は残存しているが握力が不十分な方を対象とした自助具 握った際の際間を埋める素材（スポンジ・フォーム材）を使用し、物品をしっかり保持できるよう工夫 滑り止め加工（ラバー・シリコン）により、保持力を補強し物品のずれを防止 装着型（グローブ型・バンド型）とすることで、片手でも装着しやすく、安定した固定が可能</p> <p>効果 握力が弱くても、麻痺側で物品を支持・固定できる 両手での動作が成立しやすくなり、活動効率が向上 料理場面（食材を握る）や日常生活動作（ペットボトル開栓など）に応用可能 「握る」という残存機能を活かすことで、達成感や主体的な参加を促進 趣味・余暇にも活用でき、生活の幅を広げる</p>
工夫したポイント	<p>1.スポンジ素材による握り隙間の埋め込みで物品のしっかり保持を実現 2.滑り止め加工による手指保持力補強と物品のずれ防止 3.バンド型の手指装着形状で麻痺側でも安定した固定を実現</p>
利用上の留意点	<p>※使用上の注意点、耐久性、衛生面といった留意点を記載する。</p> <p>手の大きさ・麻痺の程度・活動内容に応じて調整が必要。合わない場合も多い。 長時間装着で蒸れや圧迫による褥瘡リスク。通気性や清潔保持が必須。</p>

作
製
の
準
備

※使用材質、道具、工具、材料費、などを記載する。

素材：スポンジ、軍手、マジックテープ

工具：はさみ、カッター、縫製器具

材料費：900 円

応
募
作
品
の
特
徴

※作品の外観、作り方・製作過程、活用場面について写真と説明文を用いて記載する。

※画像は最大 10 枚とし、自道具の特徴や使用状況が分かるような写真を使用する。

1. 作品の外観



2. 作り方・製作過程

①右手の滑り止め付きの軍手を二枚用意し、写真のように切る。



②写真のように切る



③手首に切り込みを入れている方に指の先端は切らないように指の側面に切り込みを入れる。
もう片方も指同士を縫い付ける。



④手袋を裏返し、隣同士を縫い合わせる。



⑤手首を元に戻し、手首の切り込みの長さ出しをして写真のようにマジックテープを縫い付ける。



⑥上の⑤の布と③で縫い合わせた布を滑り止めが上に来るように重ねて縫い合わせる。
縫い合わせた布の隙間に薄く切ったスポンジを入れ全体的に縫う。



⑦完成

裏

表



3. 活用場面

にぎっこは、握力が弱い方や麻痺がある方が麻痺側の手で物品を支えたり固定したりする際に活用できる自助具である。

調理動作では、食材を麻痺側で支える補助として利用し、両手を使った。作業が可能となる。

また、ペットボトルを開ける際に、麻痺側に装着することでペットボトルを支え開けやすくすることができる。

創作活動や趣味活動にも応用でき、裁縫では健側で針を持ち、麻痺側で布を持つ際に自助具をつけると支えやすくなる。

応募
作品
の特
徴

<写真の使用に関して> ※該当する項目()に○を入れる。

用いている写真に個人情報が含まれる場合：

⇒対象者に同意を得ている ()、対象者に同意を得ていない ()、該当せず (○)

※ご記入いただいた個人情報は、本コンテストの目的以外には一切使用致しません。